

実践記録

学校/学年	中学校 / 2年	
教科等：单元名	道徳：「ITスキルを身につけよう」	
キーワード	ネット上のマナー	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 4：危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する
	中目標項目番号 中目標項目内容	d 4 - 2：トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	社会生活で守るべき「決まり」や「マナー」を理解し、大切にすることを育てる インターネットの危険から身を守るスキルを理解する	
使用教材	教材名	注意！ネット生活の落とし穴
	製作者	(編集者)
	入手先(URL等)	「社会性を育てるスキル教育 3 5 時間中学 2 年生」図書文化社

展開

	学習活動	指導 評価
導入	1 本時の学習のねらいと授業の流れを知る	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの利用状況や家庭でのIT環境について、発問と挙手により確認する。 「掲示板」にあった投稿を範読し、身近にある危険性をつかませ、目的意識をもたせる。
展開	2 ワークシートの課題1に個人で取り組む 3 ワークシートの課題2に個人で取り組む 4 生活班でのグループ学習をする	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの課題1、2は個人作業として、周囲と相談せずに取り組ませる。 課題1、2について順番に発表させる。その際自分の意見を言うだけでなく、友だちの考えをしっかりと聞くように指導し、班でよりよい方法を話し合う。 具体的なスキルが出されないときには、まとめのときに教師の話としてポイントを押さえる。
おわり	5 本時の学習を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートに記入し、発表する。 スキルを理解できたか、確認する。 社会生活の中で守るべき決まりやマナーが理解できたか。 インターネットの危険から身を守るスキルが理解できたか。

授業の成果

- 家庭でインターネットや携帯電話を利用する生徒がいるが、実際にどのようなトラブルや問題点があるかわかっていない生徒が多い。具体的な事象をいくつか提示したいり、班で話し合いをして友だちの考えを聞いたりすることで、問題になった原因や気をつけなければいけないことを考えられた。
- 「自他に関わる情報を安易に書き込んではいけないこと」、「自分の勝手な行動が他人に多大な迷惑をかけてしまうこと」、「見ず知らずの人からメールが大量に届くようになってしまったときの対処の仕方」、「インターネットを利用して買い物をするときの注意点」などのスキルを確認することができた。

指導のポイント・留意点

- 自分がトラブルに巻き込まれたら...と自分のこととしてとらえて考えることが大切である。
- 問題点とそれに対するスキルを関連づけて話し合いを進めるように指導する必要がある。